

5月23日、24日カナダのモンテペロで開催された国際森林製紙団体協議会（ICFPA）の年次総会において、日本の製紙産業へ向け東日本震災に対するお見舞いのメッセージをテレサ・プレサス理事長が署名して表明する旨了承され、日本製紙連合会に対し手交されましたので以下、仮訳と原文を掲載いたします。

（仮訳）

日本製紙連合会の皆様へ

国際森林製紙団体協議会（ICFPA）は、カナダで開催された年次総会の機会にその総意として、この度の大震災で日本国民の皆様及び日本の製紙産業の皆様が被った甚大な被害に対し、日本製紙連合会を通じて心よりお見舞い申し上げます。

ICFPA 各会員団体は、大変困難な状況の中においても、勇気、規律、そして希望を持って行動される日本国民の皆様及び製紙企業の皆様に感銘を受けました。

ICFPA は同じ製紙産業に身を置く仲間として、日本の製紙産業の皆様への連帯の気持ちを表すとともに、この困難な時にあって、我々の思いは常に日本の皆様と共にあることを確認したいと思います。

ICFPA は、日本並びに日本の製紙産業がこの困難を克服し、再建を果たすと信じています。

ICFPA を代表して

2011年5月23日 モンテペロにて

国際森林製紙団体協議会（ICFPA）

理事長

テレサ・プレサス

（原文は次頁に掲載）



To : Japan Paper Association

Montebello, 23 May 2011

Gathered at its annual meeting, in Canada, ICFPA collectively wants to express its deepest sympathy to the Japan Paper Association on the enormous damages that have affected Japanese people, and with them, the Japanese pulp and paper industry. ICFPA members were impressed with the courage, discipline and hope with which Japanese citizens and pulp and paper companies faced the immense disaster that fell upon them.

As colleagues in the same sector, we send you the expression of our solidarity and assure you that we will always be with you in these difficult times.

We are firmly convinced that Japan and the Japanese pulp and paper industry will overcome the current adversities and will soon restore its previous position in the world.

For the International Council of Paper and Forest Associations

Teresa Presas
President
